

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2025年3月31日	評価番号	W-020.2				
評価技術名称 複合鋼板耐震壁 「セイフティウォール工法」					連絡先 有限会社 新技研 http://www.shingiken.com 〒461-0001 名古屋市東区砂田橋二丁目1番 C-1509 電話 052-723-1885 Fax 052-770-5908							
概要	技術概要 厚さの異なる特殊鋼板2枚(表面0.6mm/裏面0.4mm)で粘弾性体(ブチルゴム系)を挟み、軸組みに設けた受け材に鋼板の周囲を専用のドリルねじにて固定する工法。											
	技術の特徴 ・ 強度は鋼板で確保する。 ・ 評価に当たっては、制振効果を考慮せず、強度のみで評価。				コスト サンプル構面 40,221 円/kN 設計見積り例 -							
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 (一財)日本建築総合試験所 評価番号 GBRC 建評-07-12A-002 評価取得日 平成19年6月19日				実験実施機関 (一財)日本建築総合試験所 その他 国土交通大臣認定 認定番号 FRM-0200 技術開発は中部大学工学部建築学科							
仕様	適用範囲 構法 木造在来軸組工法、伝統的構法 規模 適用範囲の制限無し 基礎、地盤 べた基礎、布基礎、独立基礎 適用部位 全ての構面 その他				写真・図 							
	主要構成部材の仕様 面材:亜鉛アルミニウムメッキ鋼板 0.4、0.6mm 内部充填材:ブチルゴム系粘弾性体 (-20℃~80℃) 木ネジ:ダクロタイズド処理 45mm x 5.5mm											
	耐震補強性能 <table border="1"> <tr> <td>壁基準耐力</td> <td>壁基準剛性</td> </tr> <tr> <td>9.04kN/m</td> <td>1746kN/rad/m</td> </tr> </table>								壁基準耐力	壁基準剛性	9.04kN/m	1746kN/rad/m
	壁基準耐力	壁基準剛性										
	9.04kN/m	1746kN/rad/m										
	設計方法 ①柱接合部による低減: 取り付け部分が健全であること ②劣化による低減: 取り付け部分が健全であること											
	施工者指定 業者指定無し											
	その他 限界耐力計算、時刻歴応答計算が可能											

施工要領書

W-020

複合鋼板耐震壁「セーフティーウォール工法」



1 受材設置-1

軸組みに45度の木材を施工
同梱包の専用ビス使用



取付け位置は枠内寸で
あれば自由



4 補強鋼板設置

剛受け材に補強用鋼板を施工
M45の釘を使用



2 受材設置-2

剛受け材の施工、梁-大引き間
寸法を3分割した位地に120×
45材を取付ける



5 パネル設置

耐震パネルを施工
同梱包の専用ビスを使用



3 受材設置-3

中央に45度の間柱を設置